

芝公園 エリア 聖アンデレ教会

Map >> 52

天から光が射す教会

東京タワーのふもと、都会でも緑豊かな芝公園からすぐのところ建つ聖アンデレ教会。1879年に英国から来た宣教師アレクサンダー・クロフト・ショウが、この地に聖堂を完成させ、礼拝を始めた。聖アンデレとは、新約聖書に登場するイエスの使徒のひとり名で、この教会は英国の宗教改革から始まった英国聖公会というプロテスタント教会に属す。教会堂は「光」を大切に建てられ、天から「光」が射すように工夫がなされており美しい。伝統を重んじつつ、世代を超えた礼拝を目指しており、結婚式、葬儀、ジャズコンサート、バザーなどの催しはもちろん、平日も教会の扉は開かれ、憩いと祈りを求める人が訪れることができる空間を提供している。

住 東京都港区芝公園3-6-18
 電 03-3431-2822
 営 日曜日主日礼拝、平日日中随時開放
 休 月曜日
 HP <http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>
 交 東京メトロ日比谷線「神谷町」駅から徒歩10分



光りを意識した聖堂。窓やライトの位置に工夫をこらしている



教会前での礼拝風景

1879年に教会を設立した英国人宣教師アレクサンダー・クロフト・ショウ



芝公園 エリア

東京のシンボルとして
 長きにわたって親しまれてきた東京タワーや、
 日本で最も古い公園の一つである
 芝公園を見ながら、街を歩いてみよう。



テイクアウトにもってこいのラップガレット。手で食べることができ、季節に合わせてメニューも変わるのでも度来て楽しめる



生地はそば粉と水と塩のみで作られており、日本のそば文化に根差したガレット作りに励んでいる



テーブル席では定番のガレットコンプレットを味わうこともできる

芝公園 エリア ガレットスタンド

Map >> 53

こだわりの国産そばを使ったガレットを堪能

東京タワーのふもとに佇むガレットの専門店。そば粉の香り漂う入り口を抜けると、ショーケースがあり、お店の看板メニューであるラップガレットが並ぶ。一般的にガレットといえばフォークとナイフを使って食べるイメージが強いが、ここ『ガレットスタンド』には新感覚のガレットがある。それが季節の野菜を生地で包んで作ったラップガレットだ。種類も豊富で、テイクアウトはもちろんだデリバリーやケータリングのサービスも行っているのも大きな魅力。自然農法で栽培された長野県産の玄そばを、お店にある自家製粉機にかけて作るため、健康志向の働く女性にも大人気だ。自慢のそば粉で作られたもちもち生地とシャキシャキした新鮮な野菜との相性は抜群。お酒を飲むお客様向けにオーガニックワインも用意されている。

住 東京都港区麻布台1-11-2
 電 03-6277-0790
 営 11:00~20:00 不定休
 HP <https://www.galette-stand.com/>
 交 東京メトロ日比谷線「神谷町」駅から徒歩5分
 都営地下鉄大江戸線「赤羽橋」駅から徒歩7分



日曜礼拝の様子



こちらが外観。木造建設で一部にレンガが使われている



きれいな音を奏でるパイプオルガン

芝公園 エリア 聖オルバン教会

Map >> 51

静けさと暖かみに包まれ英語による礼拝を行う教会

隣接する聖アンデレ教会が日本語で礼拝を行なっているのに対し、聖オルバン教会では英語による礼拝・説教が行われている。「都会のオアシス」とも言うべき緑豊かな環境の中、様々な人種・年齢・職業の人たちが平等で国際的な関係を築いている。平日はいつでも誰でも自由にお祈りや瞑想を行うことができるため、ランチや休憩のついでに訪れる人も。日本に長く暮らしたアメリカ人建築家アントニン・レイモンドの設計による木造建築には「静けさと暖かみに包まれて心が平和に満たされるように」との思いが込められ、パイプオルガンによるメディテーションタイムは、その崇高な雰囲気彩りを加える。

住 東京都港区芝公園3-6-25
 電 03-3431-8534
 営 日曜日主日礼拝、平日日中随時開放
 HP <http://www.nskk.org/tokyo/churchs/alban>
 交 東京メトロ日比谷線「神谷町」駅から徒歩10分